

「2010年版 介護保険制度の現状把握」

(2010年6月10日掲載)

No.2	2005年の介護保険制度改革の基本的な視点と主な内容		
解答	(1) 基本的な視点		
	① 明るく活力ある超高齢社会の構築		
	② 制度の持続可能性		
	③ 社会保障の総合化		
	(2) 提起された問題点および改正のポイントと主な内容		
	提起された問題点	改正のポイント	主な内容
	・軽度者の大幅な増加 ・軽度者に対するサービスが状態の改善につなげていない	① 予防重視型システムへの転換 2006年4月施行	○新予防給付の創設 ○地域支援事業の創設
・在宅と施設の利用者負担の公平性	② 施設給付の見直し 2005年10月施行	○居住費用・食費の見直し ○低所得者に対する配慮	
・独居高齢者や認知症高齢者の増加 ・在宅支援の強化 ・医療と介護との連携	③ 新たなサービス体系の確立 2006年4月施行	○地域密着型サービスの創設 ○地域包括支援センターの創設 ○居住系サービスの充実	
・利用者によるサービスの選択を通じた質の向上	④ サービスの質の確保・向上 2006年4月施行	○介護サービス情報の公表 ○ケアマネジメントの見直し	
・低所得者への配慮 ・市町村の事務負担の軽減	⑤ 負担の在り方・制度運営の見直し 2006年5月施行	○第1号保険料の見直し ○保険者機能の強化	

(参考: 社会保障審議会介護保険部会資料 等)